

認知症の人とその家族が あんしんして暮らせる街づくり

認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員は、認知症になっても安心して暮らせるよう、認知症に関する相談や支援などに取り組んでいます。

お住まいの地域を担当する「地域包括支援センター」に、お気軽にご相談ください。

業務内容

- 認知症の人とその家族の相談、支援、地域で支える仕組みづくり
- 病院や介護施設、地域にある様々な支援団体との連携の推進
- 認知症の知識の理解、普及を目的とした認知症サポーター養成講座の開催（無料）など

問い合わせ先

担当地域包括支援センター

認知症初期集中支援推進事業

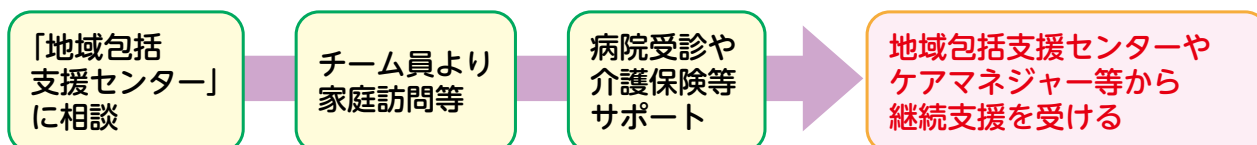
認知症は早く気づいて「早期診断」「早期対応」をすることが大切です。



業務内容

- 認知症初期集中支援チーム員による認知症に関する不安や悩みごとなどへの支援
 - 認知症に関する情報の提供や、医療機関への受診方法、介護保険サービスの利用やその効果に関する説明など
- ※チーム員は、認知症専門医と保健師や認知症地域支援推進員（医療・介護の専門職）で構成されています。

★認知症初期集中支援の流れ



※概ね6か月を目安に適切な医療や介護サービスが受けられるよう、集中的に支援を行います。

対象者

ひたちなか市で在宅生活をされている40歳以上の人で、認知症の心配があり、医療や介護等の支援を必要としている人

問い合わせ先

担当地域包括支援センター、高齢福祉課